

民鉄協ニュースNo.12

2022年11月30日

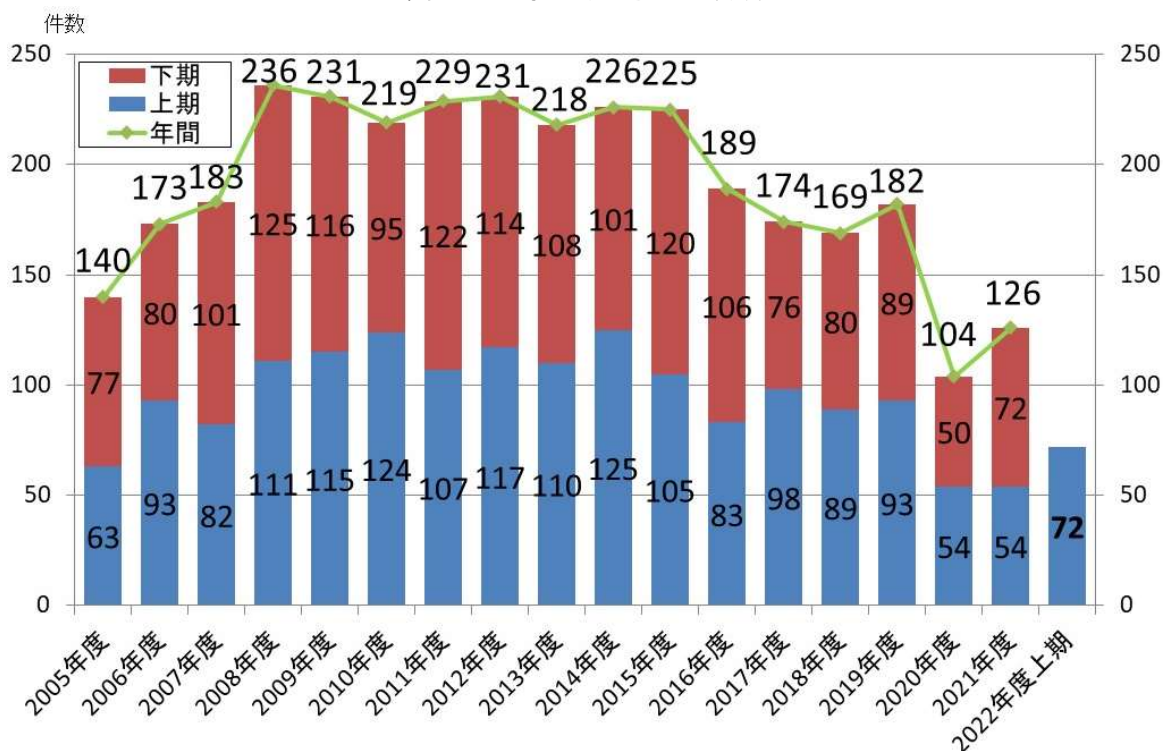
鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (2022年度上期／大手民鉄16社)

日本民営鉄道協会では、大手民鉄16社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における2022年度上期（4月～9月）6ヶ月間に発生した駅係員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数について集計を行ったところ、暴力行為の発生件数は72件と、前年同期と比較し33%増加しました。

暴力行為が発生する状況としては、酩酊しているお客様を介助しようと近づいた時や、はっきりとした理由が見当たらないまま突然暴力を振るわれるケースが多く、時間帯については深夜帯（22時～終電）、日中（9時～17時）の順に多く発生しています。また、加害者年齢は幅広い年代に分布しており、半数以上が酒気帯び状態で暴力行為に及んでいます。

当協会は犯罪である暴力行為をなくし、安全で快適な鉄道を維持するため、引き続き啓発ポスターの掲出など各種取り組みを実施してまいります。

年度別 暴力行為発生件数



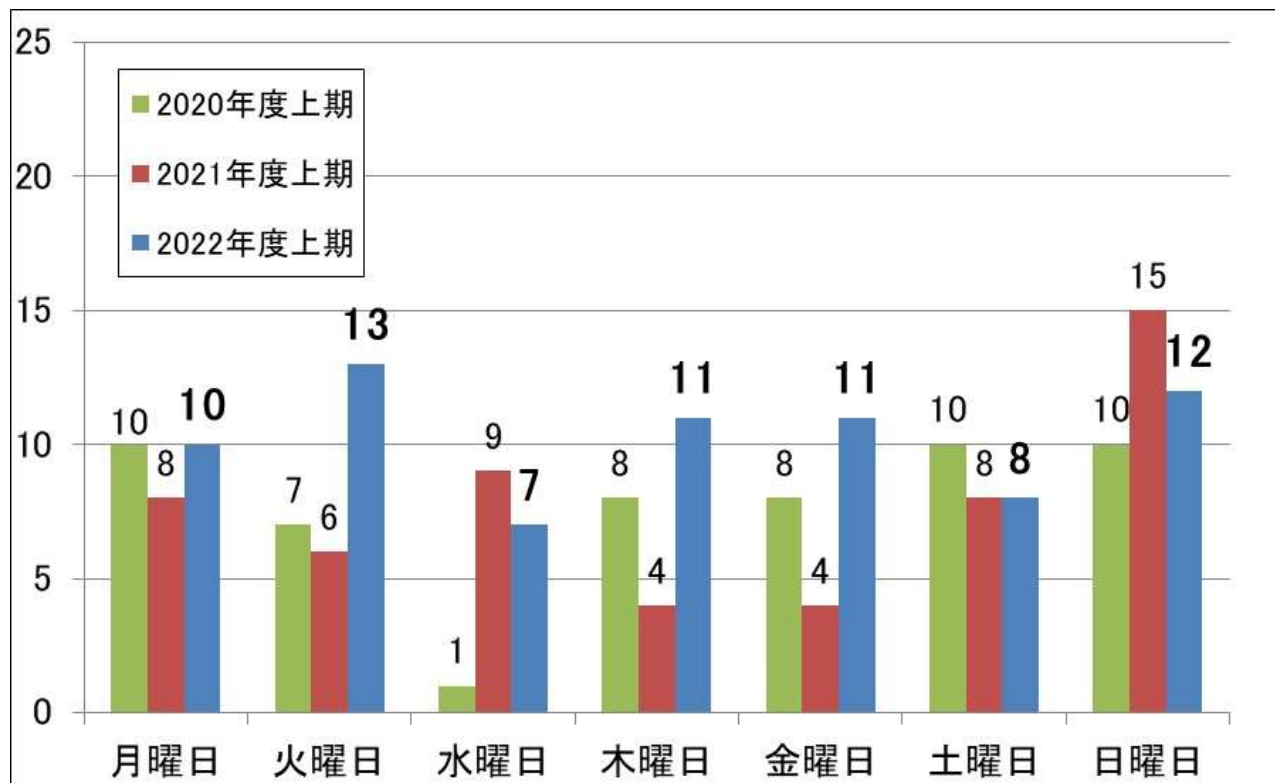
（参考）以下の項目の集計結果を別紙にて紹介しています。

- 1.曜日別 発生件数
- 2.時間帯別 発生件数
- 3.主な場所別 発生件数
- 4.主な契機別 発生件数
- 5.加害者年齢
- 6.加害者の飲酒状況
- 7.具体的事例

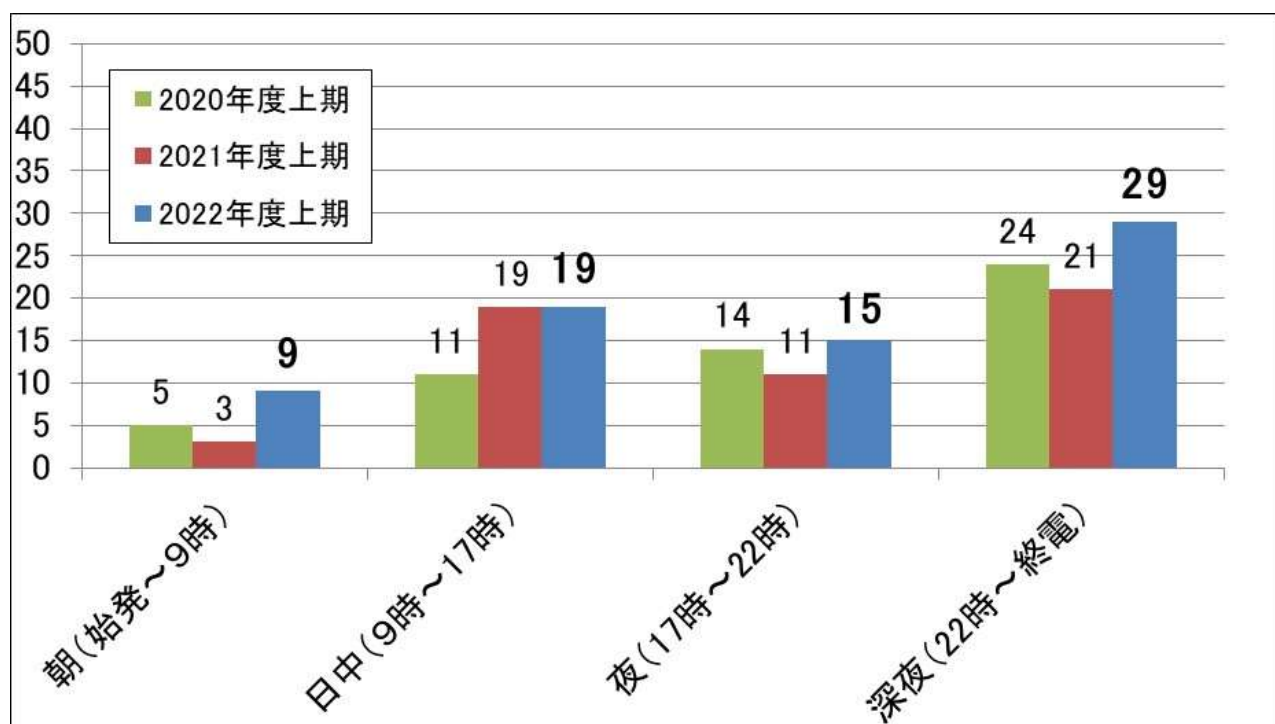
※なお、別紙に記載しておりますこと以外の詳細な内容や件数は公表しておりません。

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体的事例等(詳細)

1. 曜日別 暴力行為発生件数

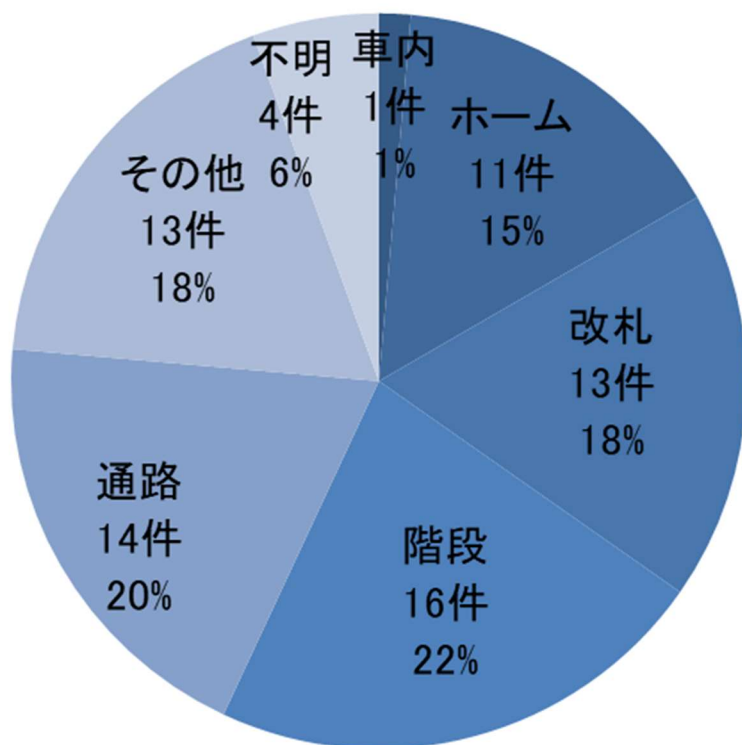


2. 時間帯別 暴力行為発生件数

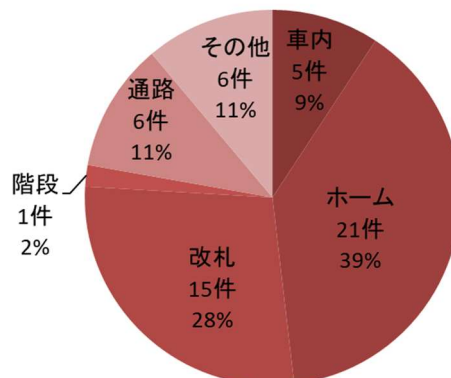


3. 主な場所別 暴力行為発生件数

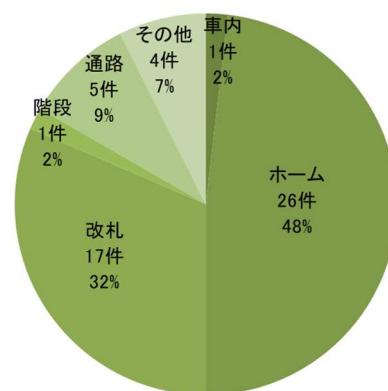
2022年度上期



2021年度上期

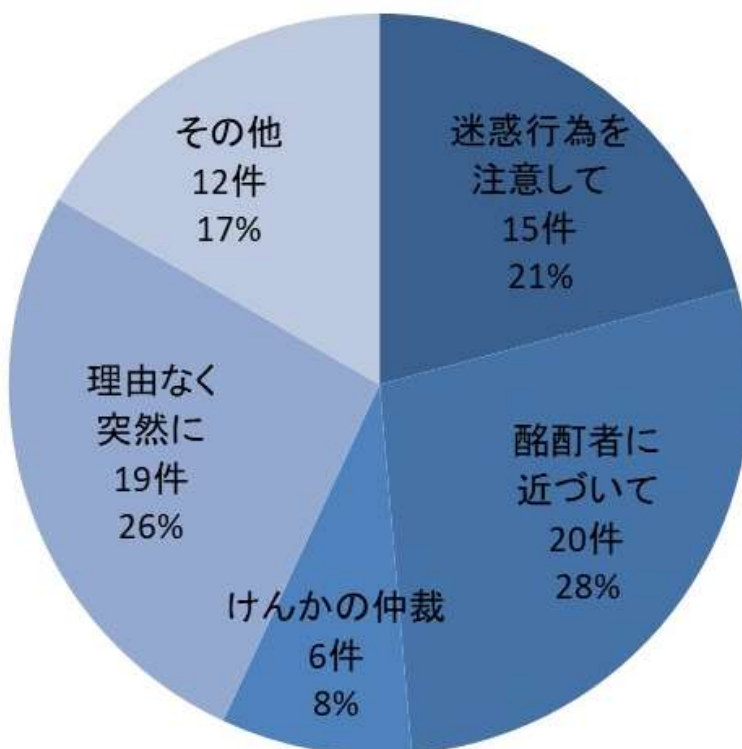


2020年度上期

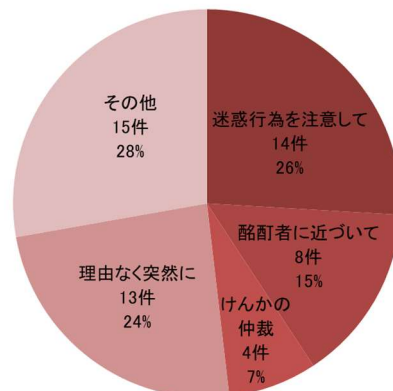


4. 主な契機別 暴力行為発生件数

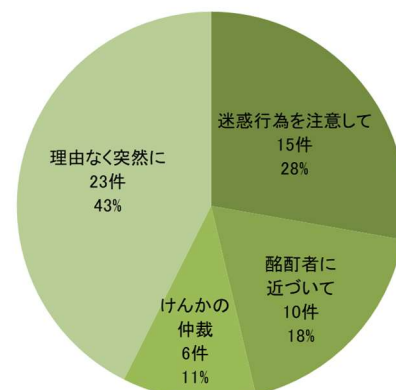
2022年度上期



2021年度上期

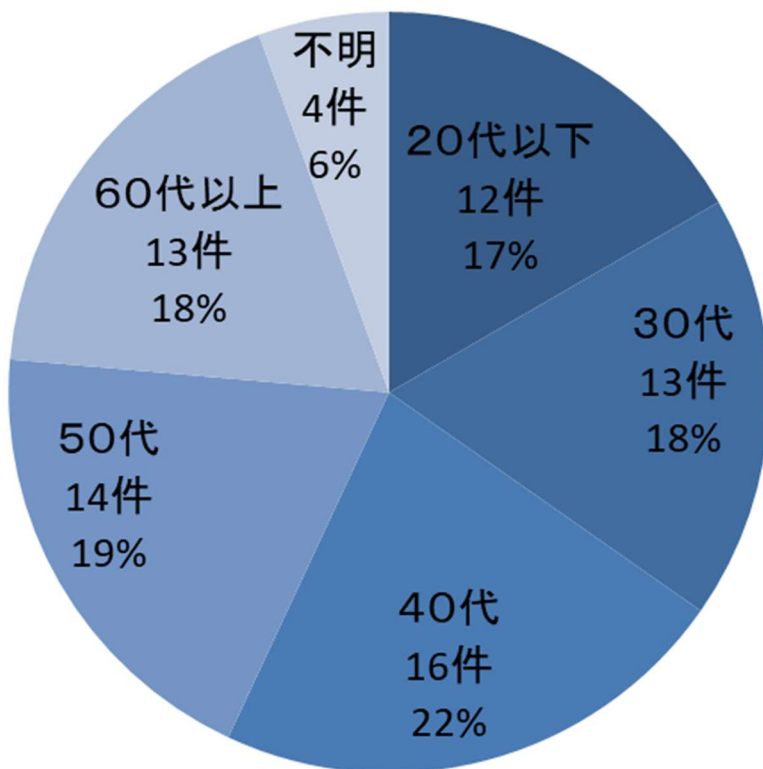


2020年度上期

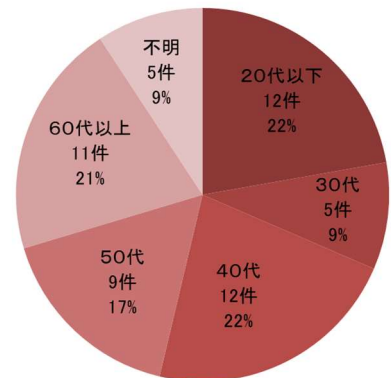


5. 加害者年齢

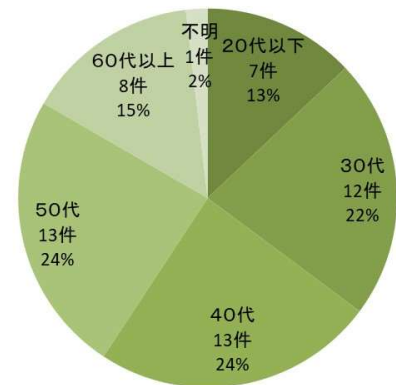
2022年度上期



2021年度上期

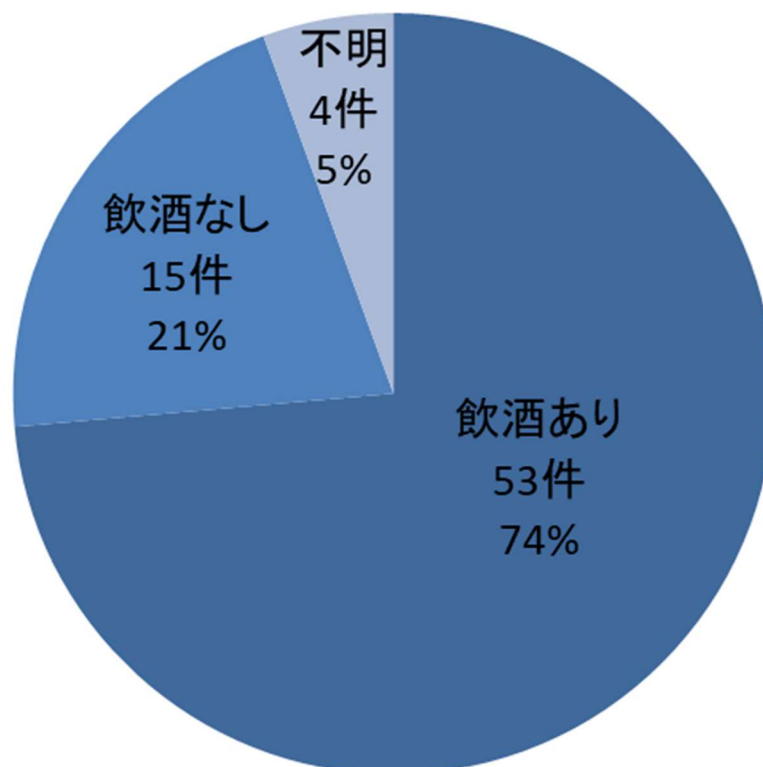


2020年度上期

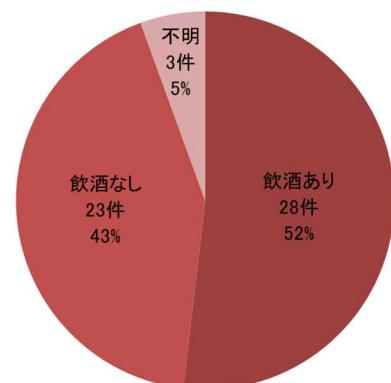


6. 加害者の飲酒状況

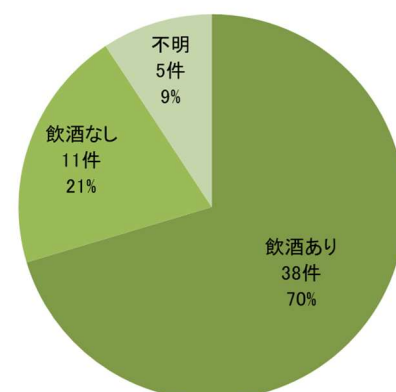
2022年度上期



2021年度上期



2020年度上期



7. 具体的事例

【事例1】

曜日	土曜日	時間帯	夜 (17時～22時)	場所	ホーム
契機	酩酊者に近づいて	年齢	60代	飲酒	あり

被災者は、当駅止まりの列車内巡回中、酩酊している60歳代男性に列車の終点である旨を伝え降車を促すと、突然、当該の男性より胸倉を掴まれ降車後、右頬を平手にて殴打され受傷した。

【事例2】

曜日	木曜日	時間帯	日中 (9時～17時)	場所	ホーム
契機	理由なく突然に	年齢	70代	飲酒	なし

被災者は、ホームにて、70歳代女性の荷物がホーム縁端にあったため、下げてもらうよう声を掛けたところ、当該の女性は激高し、被災者は荷物を叩きつけられる等の暴力を受けた。

【事例3】

曜日	火曜日	時間帯	朝 (始発～9時)	場所	コンコース
契機	けんかの仲裁	年齢	30代	飲酒	なし

被災者は、駅コンコースにて、20歳代男性と30歳代男性の口論の申告を受け、仲裁のため現場に向かったが、両者の興奮が収まらないため、警察の出動を要請した。その後、30歳代男性が大声で暴れだし、制止した際に首及び右肘に殴打を受けた。

【事例4】

曜日	月曜日	時間帯	深夜 (22時～5時)	場所	改札口
契機	酩酊者に近づいて	年齢	30代	飲酒	あり

被災者は、駅務室で改札機の異常を確認し現場に赴くと、酩酊した30歳代男性が改札機に領収書を入れようとしていた。そのため乗車券を入れてもらうよう案内したところ、乗車券が見当たらないため、そのまま通るよう伝えたが、当該の男性は「態度が悪い」と激高し、いきなり頭突きされた。